

平成29年度 会長基本方針

一般社団法人 滋賀県トラック協会
会長 田 中 亨

昨年のビッグニュースは、言うまでもなくトランプ氏の米国大統領選の勝利であり、今後米国の政策次第でわが国への影響が非常に大きいものになると考えられます。また、国内においては安倍内閣の安定的な政権運営が一定の評価をされた1年でした。

そして、我々トラック運送業界においては、燃料価格が低水準で推移した一方で、一昨年同様、労働力確保が大きな課題となった年でありました。

そうした中、一昨年より進めております「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」は3年目に入り、手待ち時間の削減等に取り組むパイロット事業にも着手し、段階的に推し進めていくこととなっております。

このような背景のもと、当協会は滋賀県と連携しつつ「選択と集中」を基軸に時代の変化に即応した会員目線に合った事業、分かり易い事業を標榜。とりわけ「安全」と「人」の二枚看板を前面に押し出し事業の推進を図って参りました。

一つ目の看板は「安全」であります。

その特出すべき事業は、昨年10月に竜王ドラゴンハットで開催しました「第1回滋賀県交通安全フェア」であります。我がトラック協会を中心に、バス協会、タクシー協会と共に、滋賀県、県警、近畿運輸局はじめ他の交通関連団体との連携を図り、実に2万人を超す県民が来場され、県レベルの交通安全大会では史上類を見ない大会となり大成功裏に終えることができました。この事業は、全国的にも非常に大きな評価をいただき、今後の交通安全対策事業の道筋がはっきりと見えてきた事業でした。

いま一つの看板は「人」であります。

一昨年より行っております「物流出前講座」は、昨年末までの1年間で8校の高校で実施し、約1,000名の生徒に実施してきたところであります。この事業は、明確にトラック協会が求められている持続可能な事業であり、十分な手応えと核心をつく事業であります。昨年末には全国トラック協会会長会議において「若者よ君たちの時代だ!!」のテーマのもと、この事業内容を紹介したところ、大きな反響と評価を得たところであります。

本年もこの2枚看板を協会事業の柱と位置付け力強く推進して行く所存です。その他、業界（協会）に求められているもの、また、数多くの課題も山積しておりますが、我々は事業の展開、推進にあたっては十分な検証と精査を行い「トラック協会の会員で良かった」と思われる事業を展開していかなければならないと考えております。

近い将来、職場に若者の声が響き、若者の息吹が感じられるような「業界づくり」を会員みんなでめざそうではありませんか。

本年も「継続・刷新・結束」をコンセプトに、「進化」をより「深化」させた協会運営を推進して参りますので、会員各位のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、平成29年度の基本方針と致します。

平成 29 年度事業推進施策

○最重点施策

1. 交通事故防止対策の推進並びに滋賀県交通安全フェアの開催
2. 物流キャリア教育（物流出前講座）の実施
3. 取引環境・労働時間改善に向けた諸対策の推進

○重点施策

1. 適正化事業の推進による法令遵守の徹底
2. 広報啓発活動の推進
3. 防災に対する取組みの強化
4. 政策的諸課題への対応
5. 関係機関・団体との連携強化